

R 5 笠利地区（笠利中校区）「市民と市長のふれあい対話」での主なご意見と市の対応

笠利地区（笠利中校区）

2024.3月

No.	地区	項目	意見要約	市長回答	担当課	担当課補足
1	笠利地区	組織の在り方について	将来的に名瀬総合支所が奄美市役所を兼ねて、笠利総合支所、住用総合支所が出張所あるいは事務所に降格してしまうのではないかと懸念されている。	3市町村で対等の合併であるということで、それぞれに総合支所を置いていると思いますし、それぞれの地域の自主性独立性、これまでの歩みなどを含めて過去の経緯は大事にしたいと思っておりますので、笠利総合支所や住用総合支所を出張所や営業所に降格することは想定しておりません。	企画調整課	補足なし
2	笠利地区	風土自然について	笠利町、住用町は都市計画区域外であることから、奄美パーク前にホテルの建設が予定されているが、風土、自然、文化をどのようにして守っていくのか。	海沿いに景観を損ねるような高いリゾートホテルが何棟も建つのは、いかがなものかなという思いがありますが、民間の方々がつくる財産には憲法でも保障されている財産権という権利がありますので、しっかりと手続きを踏んでいかないとけないので、県とも連携をとって情報収集をしています。今、その予定があるものに対して、すぐにできるかどうかとも正直難しいと思っておりますが、今後そういった施設が増えないように今の内から議論や民間の皆様からも意見を聞いて進めていく必要があると思っています。	企画調整課	【企画調整課】 本市においては、令和5年度から景観条例の運用を開始し、景観計画に沿った景観づくりを全体的に進めていくことといたしております。景観形成は行政のみならず、市民や事業者にも努力が求められるものがございます。また、建設等に当たっては「周囲の眺望を著しく阻害することのないよう配慮した高さ・配置と努める」ことなどが求められますので、本市において建築物等の建設にあたっては景観形成基準に適合しているかについて、必要に応じて外部の皆様のご意見も伺いながら慎重に判断をしていくこととしております。
3	笠利地区	保育士の求人について	保育士の求人は、島外に対しても行っているのか。	正職員、昔でいう臨時職員の求人は、ハローワークで全国に出していますが、応募すらほとんどないというのが実情であります。	いきいき健康課	【いきいき健康課】 未だ人材確保の見通しは立ちませんが、ハローワークに加え、エアワーク（求人サイト）への登録も行い、広く募集しております。また、みなし保育士として保育士同様に従事できる有資格者（看護師、准看護師、保健師、小学校・幼稚園、養護教諭）の募集も開始しております。
4	笠利地区	リゾートホテル建設について	節田のリゾートホテルに関して、2017年に空港から用安までを国立公園から国立公園に変更しているが、もう1回、空港から用安までを国立公園に復帰できれば、ホテルが乱立するというものを正当な理由で規制ができるのではないかと懸念されている。	以前、図面を見ましたが、ホテル建設予定地は、国立公園の規制がかかっている場所になっております。ホテルに関しては、奄美市にある景観条例景観計画を提出していただくことなどに限られるというのが率直な考えであります。	世界自然遺産課	【世界自然遺産課】 世界自然遺産登録の価値を将来にわたり維持していくための保護担保措置として、環境大臣が自然公園法に基づき国立公園を指定・管理しています。特に住用町は特別保護地区や特別地域が多く指定されているため、一般建築物の新築から木竹の伐採、植物の採取損傷に至るまで細かい許可基準が設定されています。奄美パーク周辺は区域指定がなされておらず、このためこれらの制約がない状況ですが、新たな区域指定につきましては住民の経済活動や日常生活にも大きく影響するものですので、周辺の自然環境や生態系、地域住民の皆さんの意向を確認したうえで、環境省と慎重に検討する必要があると考えております。
5	笠利地区	子育て環境について	笠利町で遊ぶところがなさすぎる。	あやまる岬公園は、市が力を入れて整備をした施設になります。また、笠利小の敷地内にある旧笠利幼稚園は、今後、解体をする予定でして、その解体した跡地に何かしら遊具の設置などの有効活用ができないかという議論を内部でしております。	笠利地域教育課	補足なし

No.	地区	項目	意見要約	市長回答	担当課	担当課補足
6	笠利地区	階段の修理について	海（大笠利港公園内にある滑り台）の階段が壊れていたが、コンクリートで修理がされたので、子どもだけで遊ばせることができなくなった。どうして、コンクリートでの修理になったのか。	漁港（大笠利港）の方にある東屋（すべり台）は、いろいろ費用対効果などを考えた上で、木造だと傷みが早くて、その度に改修をしないといけないので、コンクリート製になったかと思います。	笠利建設課	【建設課】 調査をした結果、すべり台の木造部分に腐食が見られ危険であるため、しばらくの間使用を禁止いたします。修繕の際は、コンクリート階段を含め、安全対策には十分注意いたします。
7	笠利地区	農業施策について	国は、新しい人に農業をやってほしいというふうに言っているが、奄美市は国と同じような農業施策をしようとしているのか。	市が目指す農業施策は、国と同じ方向を向いているという認識であります。	農林水産課	補足なし
8	笠利地区	ゴミステーション等について	海にペットボトル等のゴミが多いので、ゴミステーションやごみを集める際の道具などを設置してもらいたい。	笠利町の状況が分からないところがありますが、名瀬に関しては、ゴミステーション等は、自治会町内会が設置管理をしています。 ゴミステーションに集められたゴミは、行政で回収をしております。 また、海岸の清掃に限定しているわけではありませんが、地域美化推進のための経済的な支援をさせていただいております。	笠利市民課	【笠利市民課】 笠利地区においても、ごみステーションは集落が設置・管理を行っております。 海岸漂着物に対する支援としましては、集落の清掃活動やボランティア活動で使用のごみ袋の提供や海岸漂着ごみの回収を行っています。 また、ボランティアで集めていただいたごみは笠利支所に連絡いただければ回収に伺っています。 ご提案いただいた海岸近くのごみステーション及び道具の設置ですが、海岸近くにごみステーションを設ける事により海岸清掃の利便性が図れる一方で、粗大ごみや生活ゴミが廃棄されるといった事も予想され、設置・管理は集落と相談して行うことが必要だと考えます。 笠利地区のいくつかの集落では海岸近くに漂着物専用のごみステーション（ごみ置き場）を設定し、集落が管理を行っています。 道具の設置についても市で管理を行うのは難しいですが、集落や団体に必要に応じて市の「環境美化推進団体助成金」や鹿児島県の「みんなの水辺サポート推進事業」などの補助金の活用を検討いただければと思います。
9	笠利地区	姉妹都市について	奄美の魅力を発信するため、奄美の自然を守るために環境問題に取り組んでいるイタリアのカプリ島などと姉妹都市を結ぶことは考えているか。	まず、世界自然遺産登録されました奄美・沖縄4地域とのネットワークを作ってお互いに交流をした後、国内の白神山、小笠原、知床ともネットワークを生かしながら交流をしていきたいと思っております。 次の段階で、そういった世界の環境保全が進んでいるところとの交流というステップかなと思うところであります。 また、何年か民間交流があった上で姉妹都市、友好都市を結んでいますので、行政に限らず、民間の皆様でも友好なり交流をしていただければと思います。	企画調整課	補足なし
10	笠利地区	魅力づくりについて	世界自然遺産の奄美としての魅力づくりをどのように考えているのか。		世界自然遺産課	【世界自然遺産課】 自然環境の保全と活用の両立による持続可能な観光活用が重要であると考えております。金作原などオーバーツーリズムによる環境負荷が懸念される地域において、自主ルールの運用によって保全と活用の両立を図るところです。 また、同様に利用が増えている笠利地区でのマリンアクティビティにおいても、地域の実情を踏まえたローカルルールの策定・運用が地域主体で進められているところです。

No.	地区	項目	意見要約	市長回答	担当課	担当課補足
11	笠利地区	魅力発信について	農業の推進というところで、奄美の美味しいパッションや農作物などの魅力を発信することができれば良いのではないかと。		農林水産課 笠利農林水産課	【農林水産課】 パッションフルーツやタンカン、マンゴー等の農作物について、物産展での販売活動や、品評会の開催、ふるさと納税返礼品等を通じて、PRしているところがございます。引き続き、販路の拡大を図り、生産者の意欲を後押しするよう魅力発信に努めてまいります。
12	笠利地区	財産権について	世界自然遺産である奄美の顔である場所に10階建てのホテルを建てることは、奄美市の財産を阻害することにはならないのか。	世界自然遺産の地域だからといって、規制をかけることは、非常に難しく、かけるにしても相当なハードルがあると思います。 また、むやみやたらに民間の活動を阻害してはいけないというような価値観もあると思います。	企画調整課	【企画調整課】 市長からの回答に加え、本市においては建設等に当たっては「周囲の眺望を著しく阻害することのないよう配慮した高さ・配置と努める」ことなどが求められますので、本市において建築物等の建設に当たっては景観形成基準に適合しているかについて、必要に応じて外部の皆様のご意見も伺いながら慎重に判断をしていくこととしております。
13	笠利地区	地球温暖化防止対策について	奄美大島の地域に合った地球温暖化対策を考えていただきたい。	(副市長) 奄美の特殊性はあると思いますし、企業さんから提案をいただいているのは、太陽光と蓄電池をセットにして、防災にも対応できるものになります。 奄美に合った脱炭素の取り組みというのがありますので、奄美ならではの計画にしていきたいと考えております。 (市長) 市の施設や土地を民間企業に無償で貸し出して、そこに蓄電池と太陽光パネルを設置していただいて、停電になった時でも、一定期間は電気が使えるような取り組みを官民連携で進めようとしております。	世界自然遺産課	【世界自然遺産課】 現在策定している地球温暖化実行計画区域施策編におきまして、外海離島で災害も多い地域性に応じた施策を検討しているところです。
14	笠利地区	フリースクールについて	笠利から名瀬まで行くのは遠いので、龍郷町の施設も使えるようにしていただきたい。	龍郷のフリースクールさんも、利用者を龍郷町民に限定していません。 もし、何か制限があるのであれば、市からもお願いをさせていただきたいと思っております。	教育委員会 学校教育課	【学校教育課】 フリースクールは公立の学校と違い、通所に際して住所等による制限がないのが一般的ですので、通わせたいフリースクールに相談（問合せ）をしていただければと思います。